

## 基調講演

# 「発達障害とコミュニケーション」 ＝学生の「わからない」と「できない」にどう向き合うか＝

授業や面談、就職支援の場でこんな戸惑いを感じることはありませんか。「説明したのに、伝わっていない」「やる気がないように見えるが、言っても動かない」「約束や期限を守れず、トラブルになりやすい」。背景には発達障害やグレーゾーンの特徴が関わっていることがあります。しかし「特性を知る」だけでは日々の学生対応はなかなか変わりません。

本講演では、発達障害の特性理解をベースに「どう関わるか」「どう伝えるか」「どうモチベーションを支えるか」という現場で使える視点に焦点を当てます。当日は講師による具体的な事例を交えながら進行、参加者の皆さまから事前にご質問を受けつけ、廣川先生から解決案のヒントを提示させていただく時間を設けます。

学生対応に悩む教職員の方が、明日からの関わりに自信を持てる60分です。

## 講演概要

廣川進先生の専門領域は、産業メンタルヘルス、惨事ストレス、キャリアカウンセリングです。学校や企業での現場経験を踏まえた＜問題提起＞と、その＜背景説明＞、＜解説＞という流れを通して理解を深めていきます。

- ＜問題提起＞ 教育現場の現状
- ＜背景説明＞ 発達障害の傾向と社会から求められる人材の変化
- ＜解説＞ 特性に合わせたサポートのコツ、コミュニケーションの工夫、モチベーションを引出す関わり方、キャリア支援で押さえておく視点
- ＜まとめとリフレクション＞

## 廣川進先生のプロフィール概要

法政大学 キャリアデザイン学部 教授（公認心理師・臨床心理士・文学博士）  
1959年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、株式会社ベネッセホールディングスにて、雑誌編集（『ひよこクラブ』の創刊等）の傍ら、大正大学大学院臨床心理学専攻修士・博士課程を修了。人事部に異動後は衛生管理者としてヘルスケア部門を立ち上げる。2001年退社後、大正大学心理社会学部臨床心理学科教授を経て現職。他、海上保安庁（惨事ストレス対策アドバイザー）などの官公庁や企業、クリニック等で非常勤カウンセラーとして勤務を経験。「職場のメンタルヘルス」「リーダーシップとモチベーション」、「キャリアカウンセリングなどの研修講師も勤める。  
＜主な著書＞

- ・「心理カウンセラーが教える「がんばり過ぎて疲れてしまう」が楽になる本」  
ディスカヴァー・トゥエンティワン
- ・「これで解決！シゴトとココロの問題」労働新聞社
- ・「失業のキャリアカウンセリング 再就職支援の現場から」金剛出版
- ・「キャリア・カウンセリング エッセンシャルズ400」金剛出版